

Google for Educationの基礎基本

【ねらい】

Chromebookの特性を知り、Google for Educationのサービスを使った活用法を思考することができる。

【ポイント】

- ① 約10秒で起動
- ② 作業環境を簡単に復元
- ③ セキュリティ対策が堅牢

【活動】

Chromebookを実際に操作してみよう。



はじめに

- 1 Google for Education について
- 2 Chromebookの基礎基本
- 3 Googleドライブについて



Google for Education

G Suite for Education



ドライブ



ドキュメント



スライド



スプレッド
シート



Gmail



Keep



チャット



Meet



カレンダー



Forms

Google Classroom



Classroom

Chromebook



ツールも学習資料もすべてオンライン



無料で使える
アプリ

いつでも
どこでも
アクセス

保存ボタン
必要なし

共同編集と
ユーザ管理





ドライブ
(データの保管)



ドキュメント
(文書作成)



スプレッドシート
(表・グラフ作成)



Classroom
(学習管理)



スライド
(プレゼンテーション作成)



Forms
(質問フォームと集計)



Meet
(ビデオ会議アプリ)

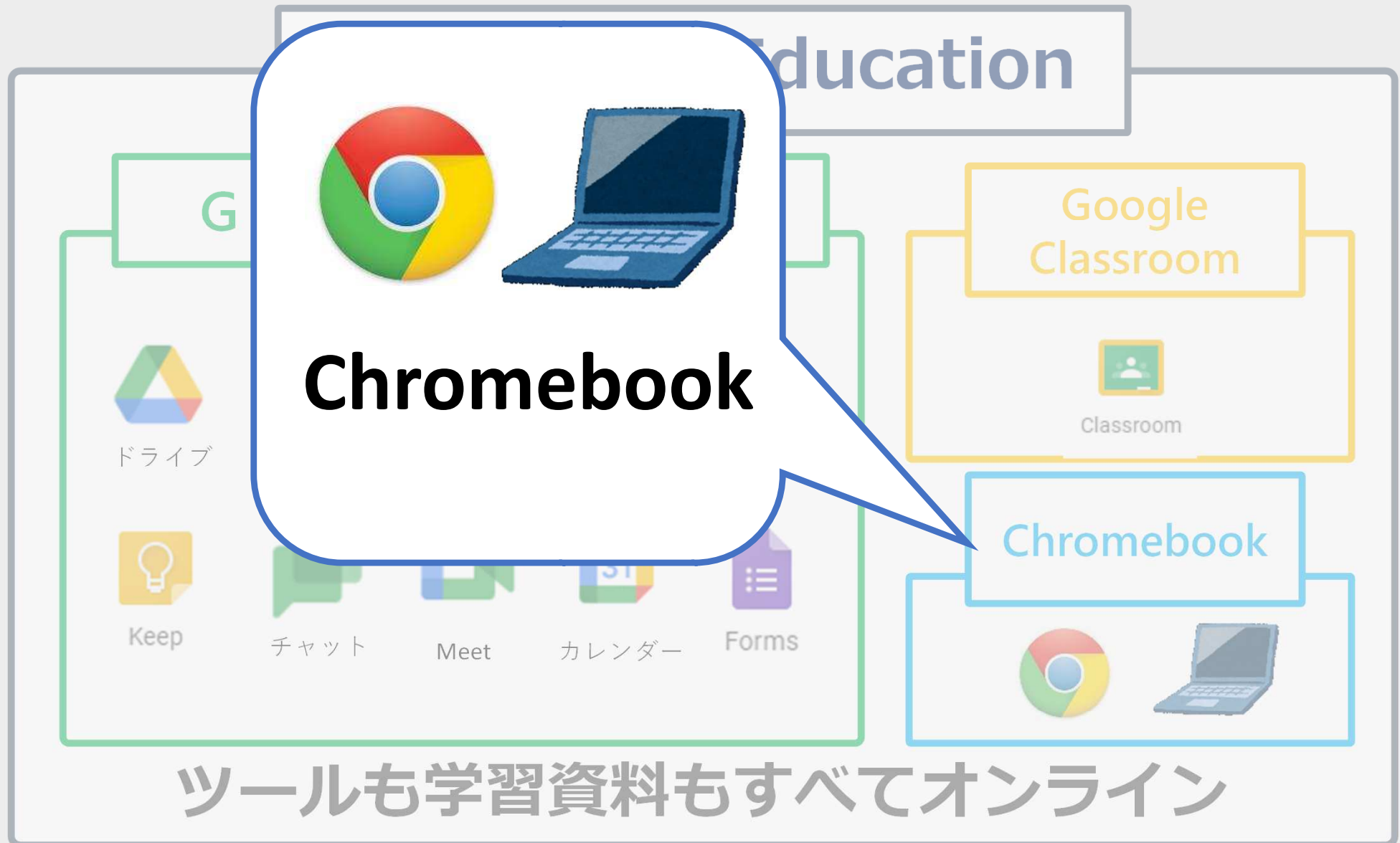


Jamboard
(電子ホワイトボード)



Gmail
(メール)





約**10秒**
で起動

**作業
環境**
簡単に復元

堅牢な
**セキュリ
ティ対策**



約 **10** 秒
で起動

作業
環境
簡単に復元

堅牢な
セキュリティ
対策



作業
環境
簡単に復元

約**10秒**
で起動

堅牢な
セキュリティ
対策



堅牢な
セキュリティ
対策

約**10秒**
で起動

作業
環境
簡単に復元



約**10秒**
で**起動**

**作業
環境**
簡単に復元

堅牢な
**セキュリ
ティ対策**



すばやく起動
高速で快適

Chrome
ブラウザに最適化



画像引用：<https://www.pakutaso.com/20200302084macbook-20.html>



GoogleChrome で作業環境の同期



100万以上の
アプリが利用できる



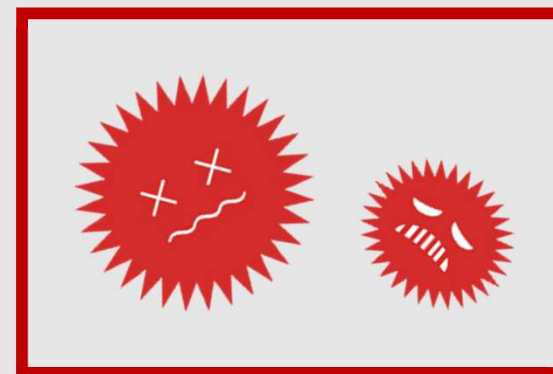
画像引用 : <https://jp.ext.hp.com/campaign/personal/notebooks/chromebook/>

堅牢なセキュリティ

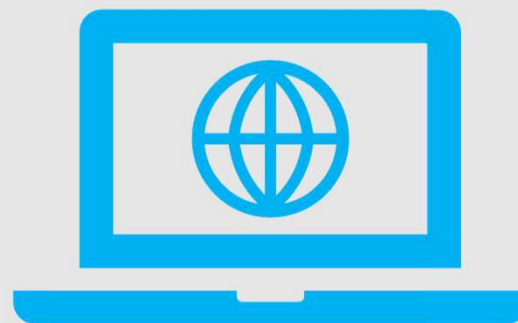
ウイルス対策
ソフトのインス
トールが不要

サンドボックス

隔離された安全な環境



★ 攻撃されても
影響を受けない ★



Googleドライブ の設定を変更

オフラインで
利用したい

ファイルを個別に設定



**所有者は一番最初に
ログインしたアカウント**

**Chromebookは
端末単位の保守**



画像引用：<https://www.pakutaso.com/20200302084macbook-20.html>



ログイン時に アカウントで切り替え



研修用oka_999 ▾

パスワード →

他のアカウントの 情報は閲覧不可

🔌 終了 👤 ゲストとしてブラウジング 👤 ユーザーを追加





前回ログインした
アカウントが表示される

右側には、以前ログインした
アカウントが複数表示される



終了



ゲストとしてブラウジング



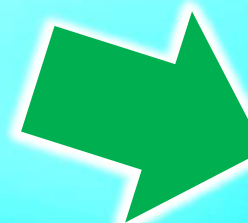
ユーザーを追加



12:36



アップデートなどの
通知が表示される



ログアウト、シャットダウン、
Wi-Fiなど各種設定



ステータス領域
ボックス

ランチャー

シェルフ



設定

- ネットワーク
- Bluetooth
- 接続済みのデバイス
- ユーザー
- デバイス
- カスタマイズ
- 検索エンジン
- アプリ
- Linux (ベータ版)

詳細設定

Chrome OS について

Chrome OS • 5分へ

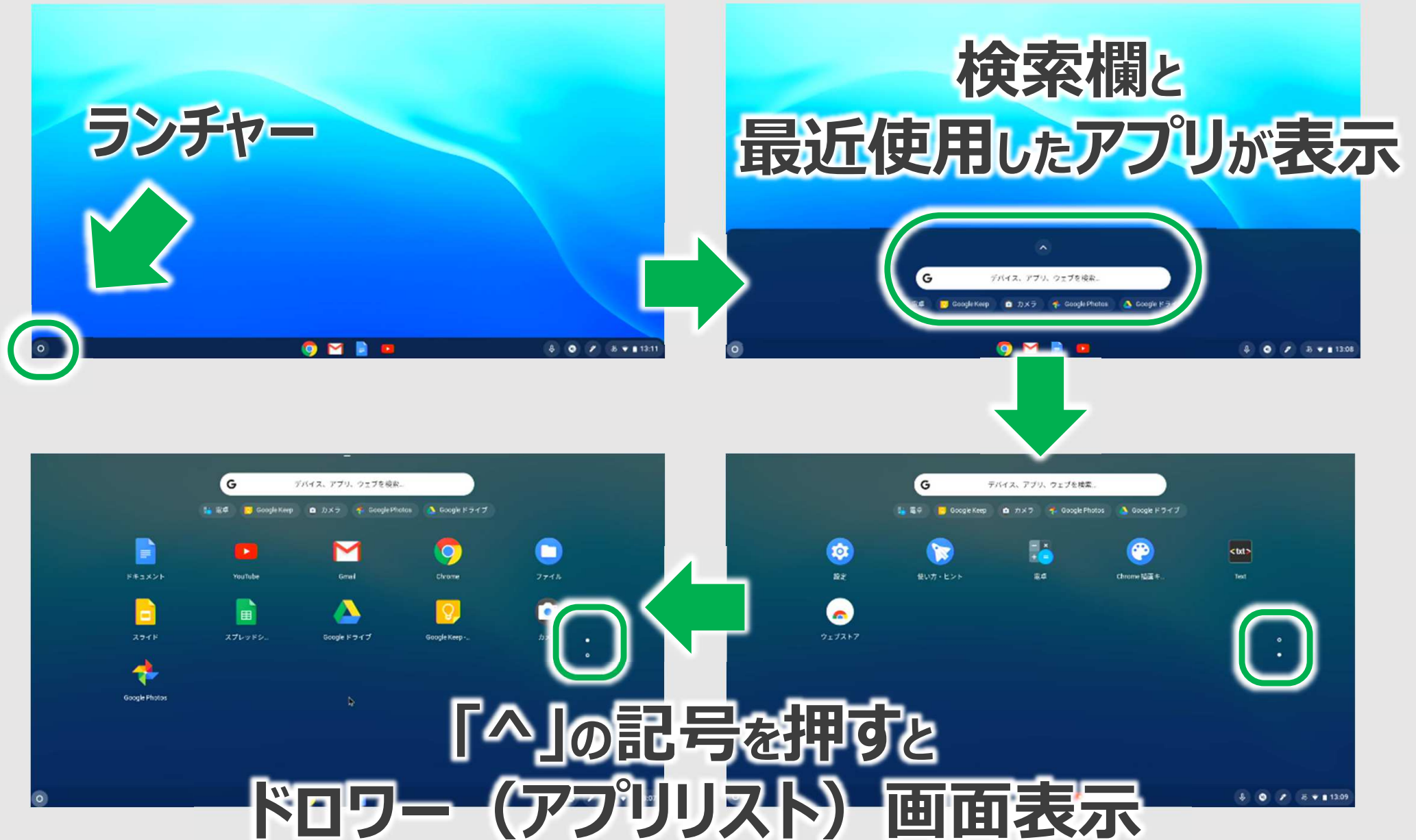
アップデートが利用可能
Chrome OS の最新アップデートの
さい

再起動して更新



ネットワークやBluetooth など各種設定







設定



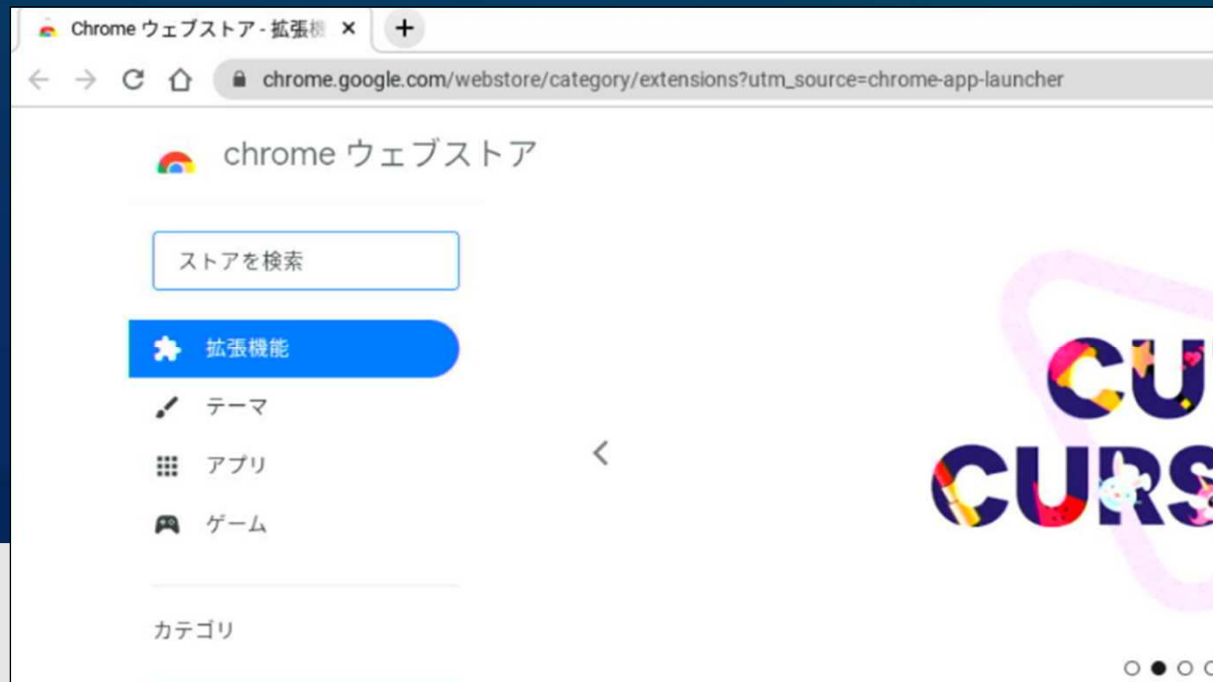
ウェブストア



G デバイス、アプリ、ウェブを検索...

電卓 Google Keep カメラ Google Photos Google ドライブ

**Chrome拡張機能を使いたいときには
ドロワー（アプリリスト）画面の
「ウェブストア」アイコンを利用する**



あ 13:09





歯車のマーク

ステータス
領域ボックス

左の設定項目



ユーザー補助機能の管理

ユーザー補助機能

システムメニューにユーザー補助オプションを常に表示する

ユーザー補助機能の管理
ユーザー補助機能を有効にします

画面キーボードを有効にする をONにする

キーボードとテキスト入力

スティッキーキーを有効にする (キーを順に押してキーボードショートカットを実行します)

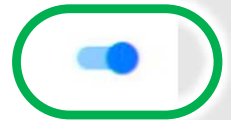
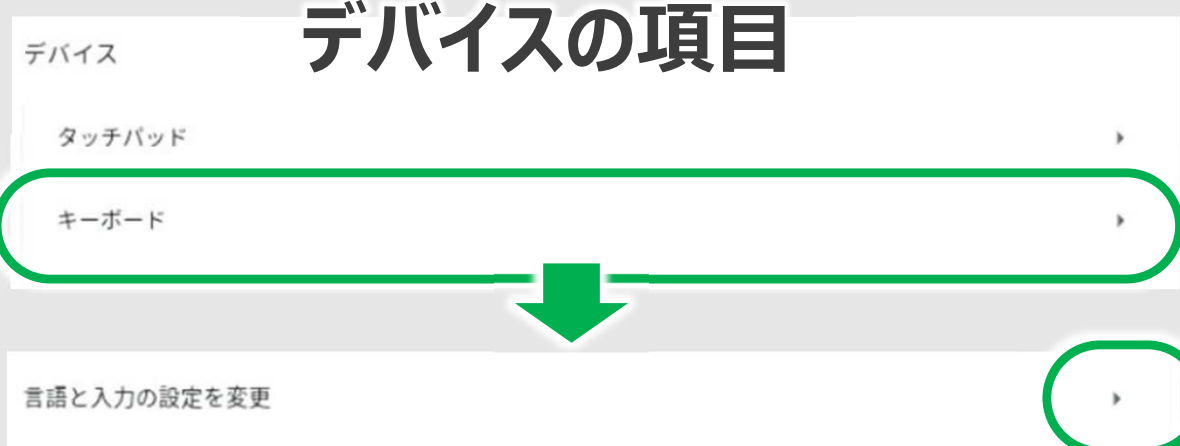
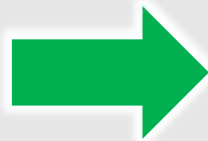
画面キーボードを有効にする

右下にキーボードのマークが表示され 選択するとキーボーが表示される





歯車のマーク

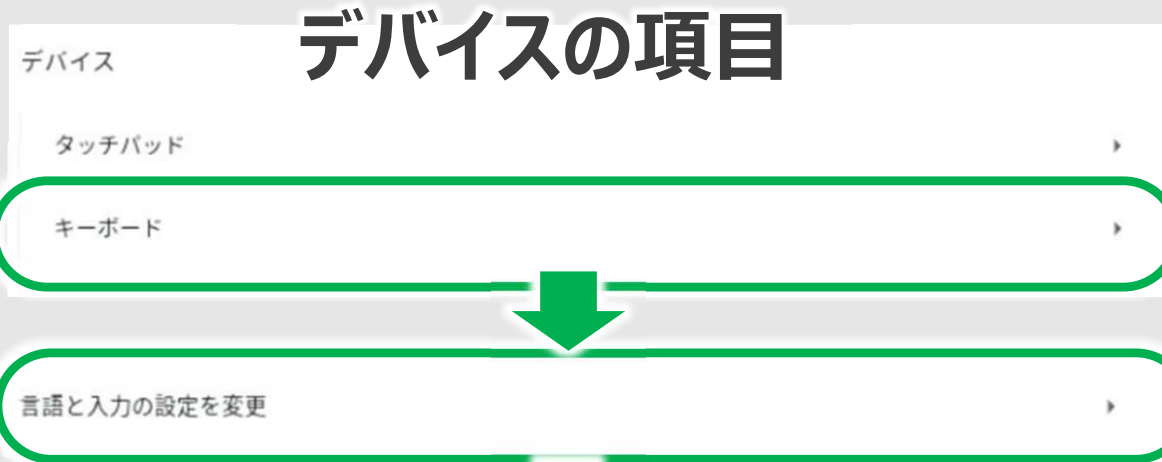


選択できる
手書き入力
音声入力

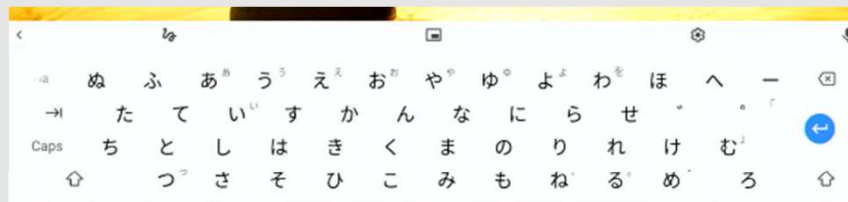
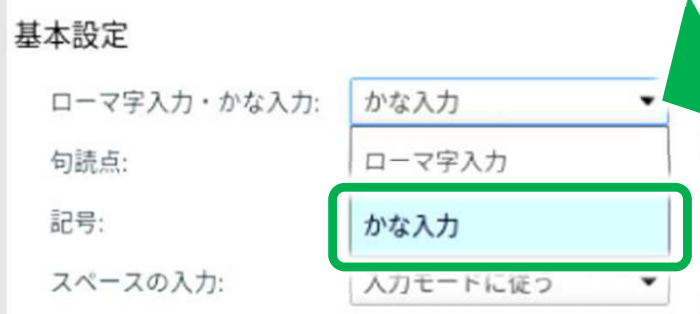




歯車のマーク



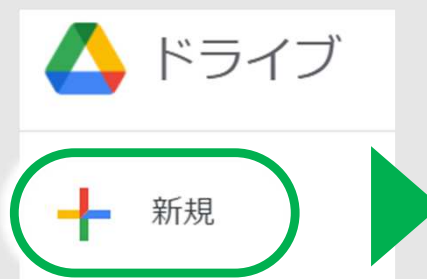
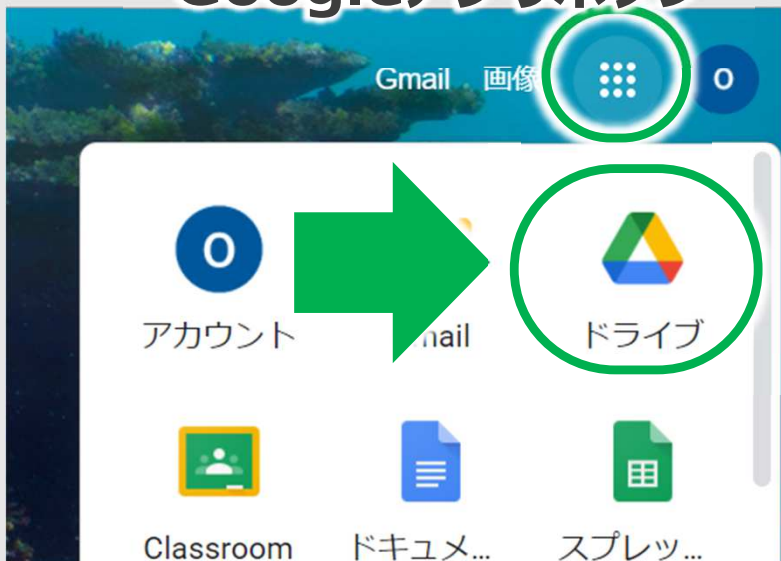
ローマ字入力・かな入力のプルダウンメニューでかな入力を選択



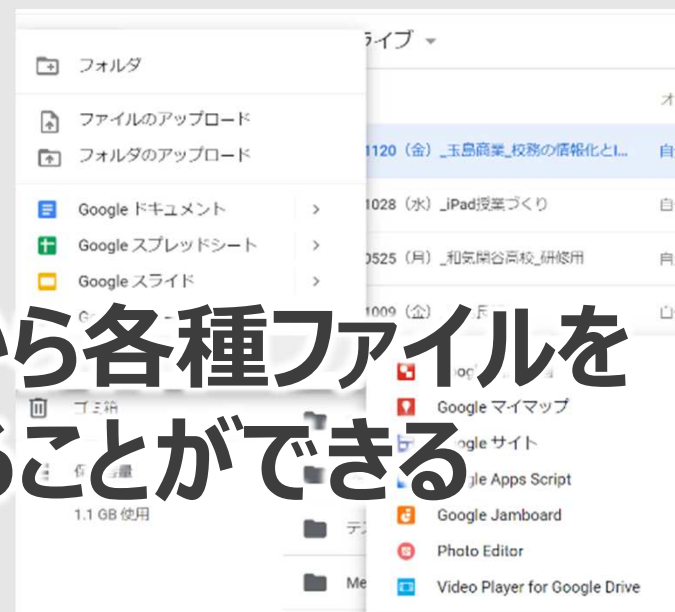
※画面キーボードも「かな表示」になります



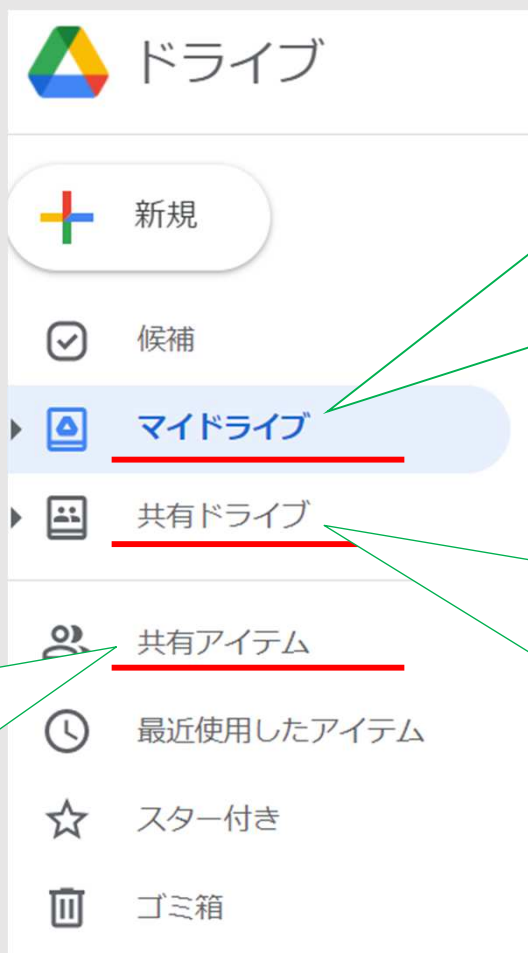
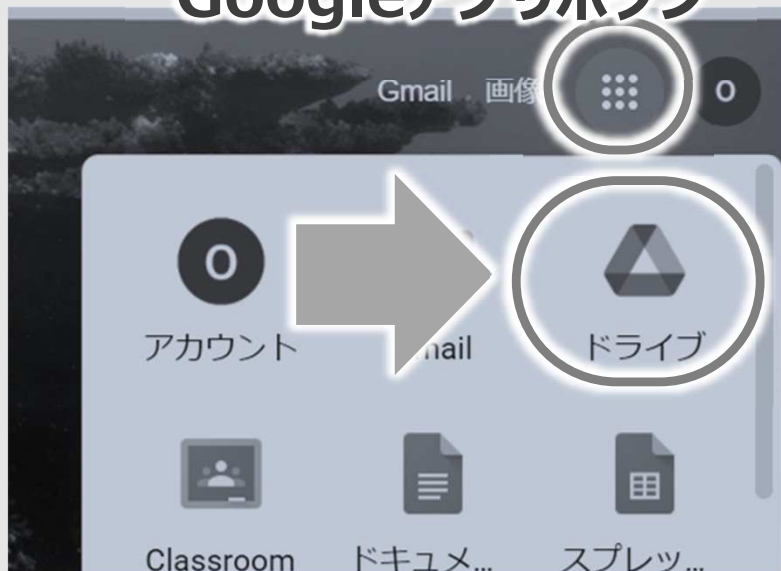
Googleアプリボタン



新規ボタンから各種ファイルを作成することができる



Googleアプリボタン



マイドライブ

ファイルを個人の権限レベルで管理する場所
G Suiteで新しいファイルを作成すると必ずここに保存される

共有ドライブ

チーム単位でファイルを管理する場所
最初に作成した人のアカウントが削除されてもファイルは残り継続管理可能

共有アイテム

自分以外の誰かから共有されたファイルが保管される場所
ファイルのオーナーが所有権を手放さないで済む

※ファイルのオーナー権限は移譲することもできます

※共有ドライブが表示されていない場合は、管理コンソールの設定を変更する必要があります。

各校に導入されたChromebookを操作して 研修の内容を振り返ってみましょう



画像引用：<https://www.pakutaso.com/20200302084macbook-20.html>



はじめに

- 1 Google for Education について
- 2 Chromebookの基礎基本
- 3 Googleドライブについて

